

H21年12月現在

病床数 42床 (産科 28床 婦人科 14床 混合病床)

医師数 7名 (1名産休・1名副院長: 実働 5名)

助産師 26名

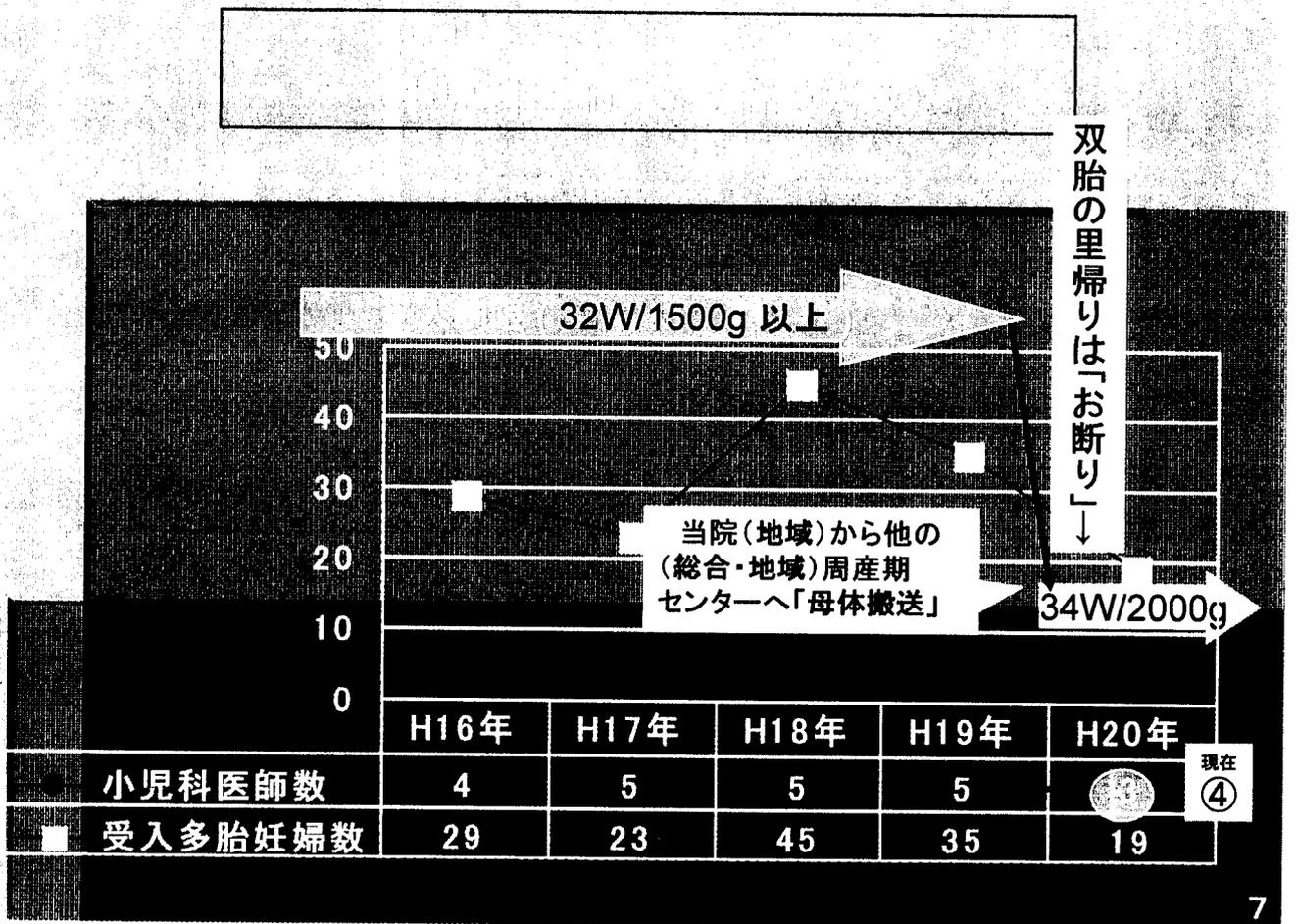
看護師 2名

現在、母体搬送の応需制限!

小児科部; 医師 4名 (H21年8月~; 3名→4名)

「地域周産期母子医療センター」の運営?

6



7

人口150~200万人に1施設 必要！

	人口(万人)	合計	総合周産期 センター	地域周産期 センター
東京都	1280	21	9	12
神奈川県	880	17	4	13
埼玉県	710	6	1	5
千葉県	605	5	2	3
茨城県	297	6	2	4
群馬県		6		5
栃木県	201	11	2	9

8

	埼玉県	東京都
人口	705万人	1255万人
(総合+地域)センター数	6(1+5)	21(9+12)
1施設当りの人口	約118万人	約60万人
	床	床
1ベッド当りの人口	約110.9万人	約6.8万人
人口100万	2床	14.8床

埼玉県の出生児数から
NICUの必要ベッド数は
120床 → 40床不足！

9

出生児数 61,946人

総合周産期母子医療センター

① 埼玉医大総合医療センター

地域周産期母子医療センター

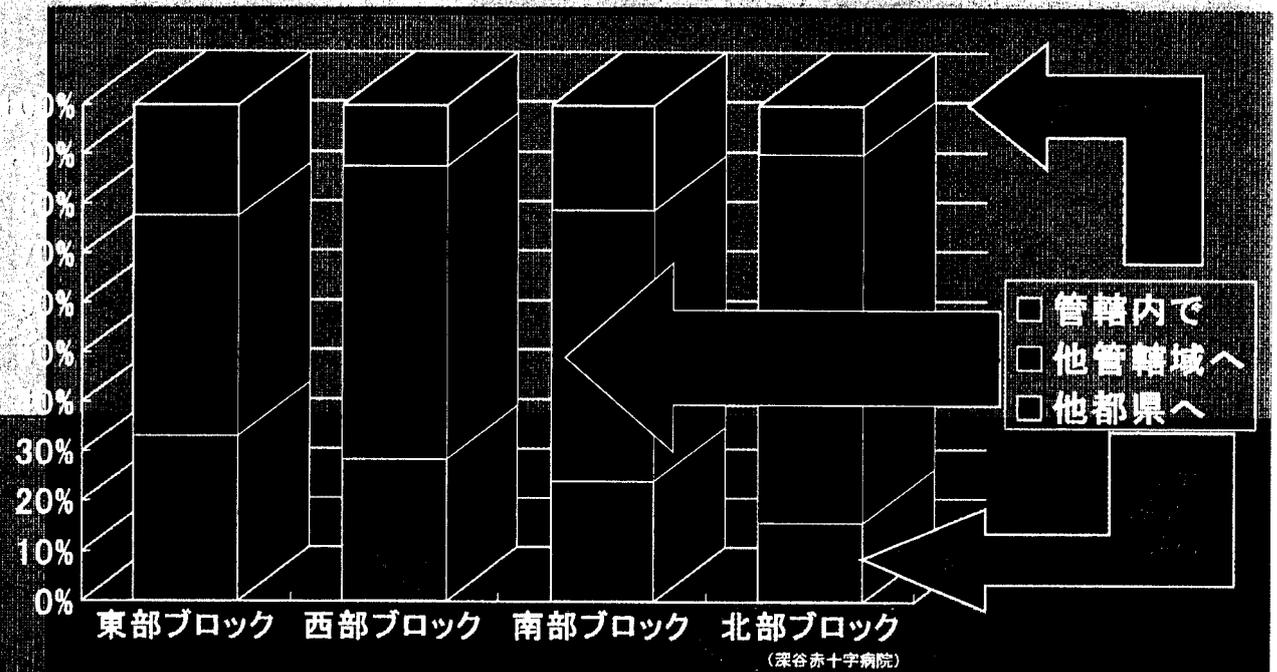
- ① 深谷赤十字病院
- ② さいたま市立病院
- ③ 川口市立医療センター
- ④ 埼玉医大病院
- ⑤ 国立西埼玉中央病院

→700万県民で、

NICU
母体搬送



!



参考資料: 母体搬送実態調査(栃木武一)より

産婦人科の紹介

診療実績の紹介

—そこから見えてくるものは

周産期医療の現状

—産科医の苦悩・変遷、そして「助産師外来」

6. 総括

12

手術件数 (320)

その内訳

産科手術 (207)

帝王切開 (200)

(帝切率 28.7%)

多胎分娩 (双胎 :29)

* 婦人科手術 (113)

・ 悪性腫瘍手術 (15)

・ 良性疾患手術 (98)

当然ですが、
癌の手術も
行っている施設
しかし→?

13